

# 胡子雅信後援会入会申込書

FAX : 0823-57-2184

(フリガナ)		男・女
ご芳名		歳
ご住所	〒737- 江田島市 (江田島・能美・沖美・大柿) 町	
電 話	(0823)	—
F A X	(0823)	—
メール		
ご家族 ご芳名	続柄/ 続柄/ 続柄/	
ご紹介者	〒737- 江田島市 (江田島・能美・沖美・大柿) 町	
電 話	(0823)	—

※ご記入いただきました個人情報は、後援会活動の主旨以外には使用いたしません。

## 誰にでもできる後援会活動

告示前は、『投票を頼む』というような選挙活動はできませんが、次のようなことは自由にできます。

- 後援会をつくったり、拡大強化すること。
- 後援会への加入を友人や会社の人に勧めること。
- 個人や団体が候補者を推薦すること。

### ■後援会規約 (抜粋)

- 本会は、胡子雅信氏の政治活動を後援し、かつ、会員相互の親睦を深めることを目的とします。
- 本会は、前条の目的を遂行するため、次の事業を行います。
  1. 講演会・座談会などの開催
  2. 会報などの発行および配布
  3. 関係団体との連携
  4. その他本会の目的に関連する事業
- 本会の経費は、会費・寄付金その他の収入をもって充当します。

この江田島市を住民にとって住みやすいところにしようと、約12年間議員活動を行い、また、住民の声をこまめに聞いて諸活動を行ってきました。まじめな性格であり、江田島市活性化への情熱は、誰にも負けないものがあります。

より良い江田島市を創るため、胡子雅信君には、その若い力で是非、頑張ってもらいたいと思います。



弁護士 山下 江

胡子雅信後援会 〒737-2213 江田島市大柿町大原507番地5  
TEL:090-4651-0752

創新31号(議会報告)

「対話」と「透明性」の

まぢづくり!!

キリトリ線

市民とつくる!!



えびす

江田島市議会議員

胡子雅信

【学歴・経歴】  
大柿町立深江小学校卒  
大柿町立大柿中学校卒  
修道高等学校卒  
慶応義塾大学法学部卒  
日本郵船勤務(7年)

【政治経歴】  
大柿町議会議員  
江田島市議会議員  
(現在4期11年目)  
元・副議長  
元・議会改革特別委員長

【所属】  
NPO法人ひろしま創発塾理事  
WILL(広島若手地方議員の会)  
えたじま国際交流ボランティア  
江能修友会事務局長  
広島県市町議会議員政策研究会

## あきらめない、未来への挑戦！ ～ときめきランド江田島・能美島を～

### 1. 安心・安全な暮らしへの挑戦！

#### 【介護・福祉】

各地域に適した「地域包括ケアシステム」の早期実現

#### 【高齢者がいきいき】

拠点(交流の場)整備と運用を含めた活動支援

#### 【便利な交通網】

海上交通の確保と**運賃負担感の軽減策検討**、陸上交通を便利に  
(**循環型バス**等の社会実験)

### 2. 少子化対策と定住促進への挑戦！

#### 【子育て世代への支援】

**出産祝い金、乳幼児等医療費助成制度**の更なる拡充等の検討

#### 【子育て環境の充実】

保育施設の安心・安全への取組み、既存公園を活用した**子ども広場整備**

#### 【教育】

**大柿高校存続**への支援と**大学等の研究機関**の誘致活動  
保育園と小・中・高の連携による「**教育の島**」をめざす

### 3. 積極投資による経済活性化への挑戦！

#### 【活性化委員会の設置】

専門家等が参加する江田島市活性化の**政策検討組織**設置

#### 【地場産業の強化と雇用の創出】

農業・水産業の6次産業化への支援強化、付加価値と販売競争力を高める支援  
情報インフラ(光回線)を活用した**企業誘致**と**地場企業支援**

#### 【起業家支援】

新たな未来に挑戦する市民を応援します

#### 【観光振興に全力投球】

第1術科学校を核とした観光ルート、『道の駅』等の拠点整備、**観光潮干狩り**  
**能美海上ロッジ地域**の温泉を活かした**宿泊施設整備**等の民間活力による**再開発推進**

#### 【空き家・空き地・耕作放棄地を活かす】

**土地の流動化**を積極的に支援

### 4. 市役所改革への挑戦！

#### 【市民との対話によるまちづくり】

**トップ自ら**地域に出向き、全自治会との定期的対話を行い、まちづくりに生かす  
まちづくり協議会、自治会等各種団体への人的支援と市民交流の場を創設

#### 【職員の意識改革】

**市民目線、現場主義、予算主義から成果主義への転換**

#### 【行財政の透明化の確保】

**情報公開**を推し進め、市民に信頼される行政運営

#### 9月議会 一般質問

#### 地域防災の 危機管理について

【胡】6月大雨災害の実態把握と課題は。  
【市長】約400箇所土砂災害等を確認。災害情報管理システムで発生状況の整理や情報共有で効果あった。短時間に災害が集中し、業務が一部遅延する課題も。  
【胡】災害時は時間に限りがあり、復旧等の手続きは予めの周知が大切。  
【危機管理監】出前講座等で周知したい。  
【胡】民地災害復旧でどこに頼めばいいかわからない市民の声。建設会社等のリスト配布を。  
【土木建築部長】今後の課題として検討。  
【胡】現状、職員56人が市外通勤。防災の観点から市  
内居住検討を再度伺う。  
【市長】居住地の市内外を問わず、適宜・適切に参集し、防災要員の責務を果たす考え。実災害に則した体制構築に取組む。  
【胡】市外居住の幹部職員数は。  
【危機管理監】部課長は7名。  
【胡】他市町への市民税納付額は。  
【総務部長】平成28年度分で広島市760万円、それ以外648万円。(56人分)  
【胡】幹部職員不在の指揮命令系統は。  
【危機管理監】各部署で訓練実施。部長が市外の場合、課長は全て市内。課長が市外なら部長が市内の体制。  
【胡】憲法は「公共の福祉に反しない限り」居住移転の自由を認める。市民の安心・安全のため、市内居住、特に幹部職員は(単身赴任含め)進めるべき。自治会等と意見交換し、きめ細かい対応と幹部職員の市内居住検討を要望する。